

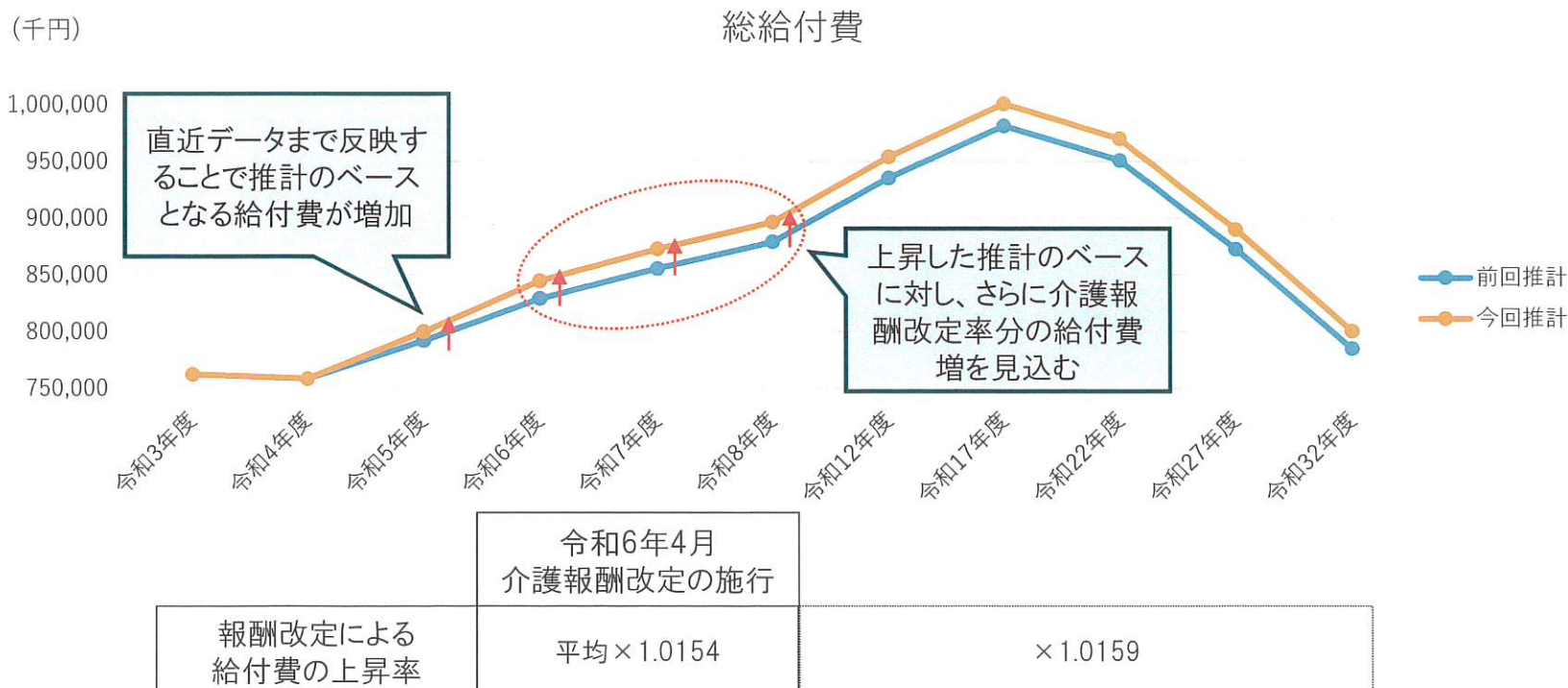
第 9 期介護保険料の算定及び基金取崩しについて

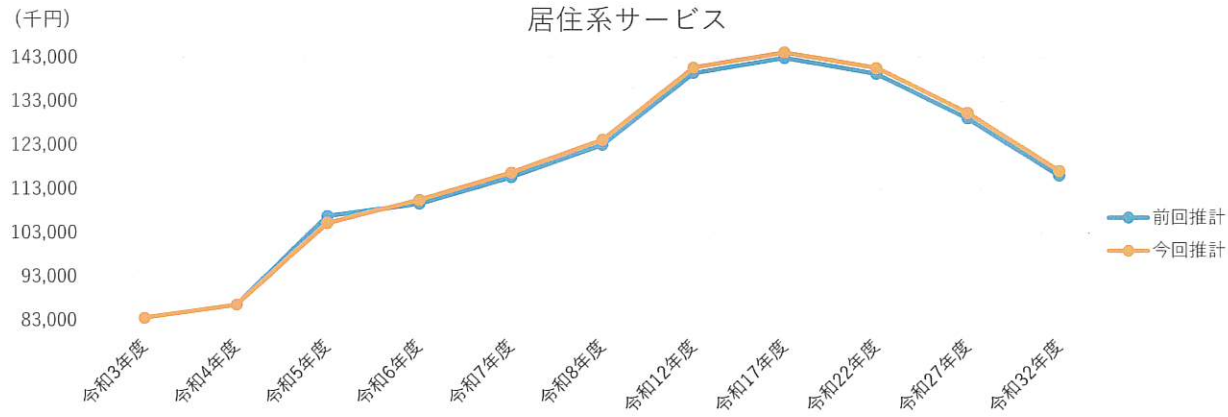
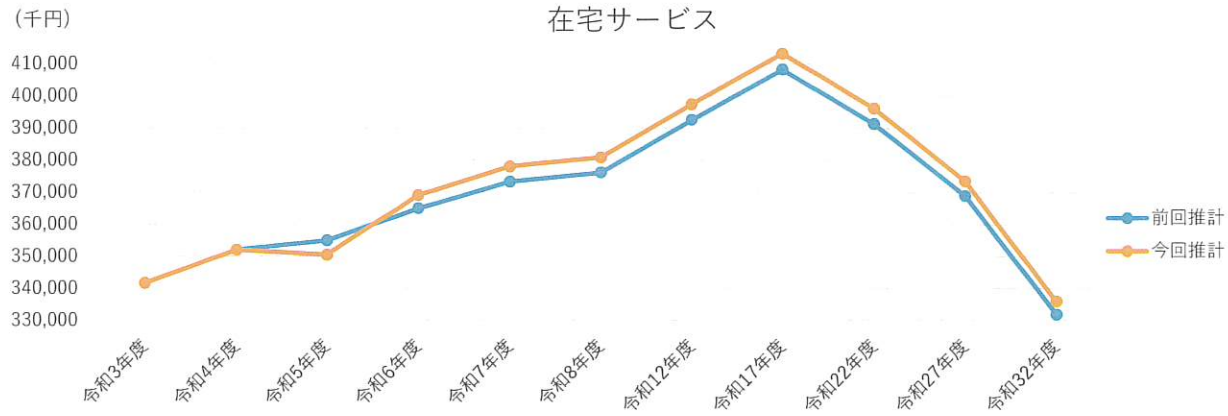
■令和5年12月22日に国の社会保障審議会（介護保険部会）にて協議がなされ、同日付けで令和6年度介護報酬改定の改定率、第9期計画期間に向けた制度改正等についてその内容が確定。

▼厚生労働省老健局通知（令和5年12月22日付）による発表内容

- ・介護報酬の改定：+1.54%（平均）【変更】
- ・保険料段階数：13段階
- ・低所得者保険料標準乗率及び公費軽減後の最終乗率【変更】
 - 第1段階：0.455（軽減後：0.285）
 - 第2段階：0.685（軽減後：0.485）
 - 第3段階：0.690（軽減後：0.685）
- ・高所得者保険料標準乗率
 - 第10段階：1.9、第11段階：2.1、第12段階：2.3、第13段階：2.4
- ・高所得者の所得段階【変更】
 - 第8段・9段階の境界となる基準所得金額から+100万ずつ増加
- ・利用者負担2割の在り方：第9期では見送り、第10期開始までに結論を得る

	前回の推計値	最新の推計値	比較
第9期の保険料基準額	6,592円	6,702円	+110円
介護報酬改定率	—	令和6年4~6月:0.61% 令和6年7月以降:1.59%	平均1.54%の上昇
保険料収納必要額	680,852,247 円	691,018,750 円	+10,166,503 円
所得段階別保険料率	第1段階:0.445 第2段階:0.680	第1段階:0.455 第2段階:0.685	保険料基準額を 引き下げる作用
所得段階別加入割合 補正後被保険者数	8,630	8,636	
令和5年度のデータ反映 月数	9月まで	10月まで	推計のベースとなる給付費 在宅サービス:-4,443 千円 居住サービス:-1,573 千円 施設サービス:13,852 千円



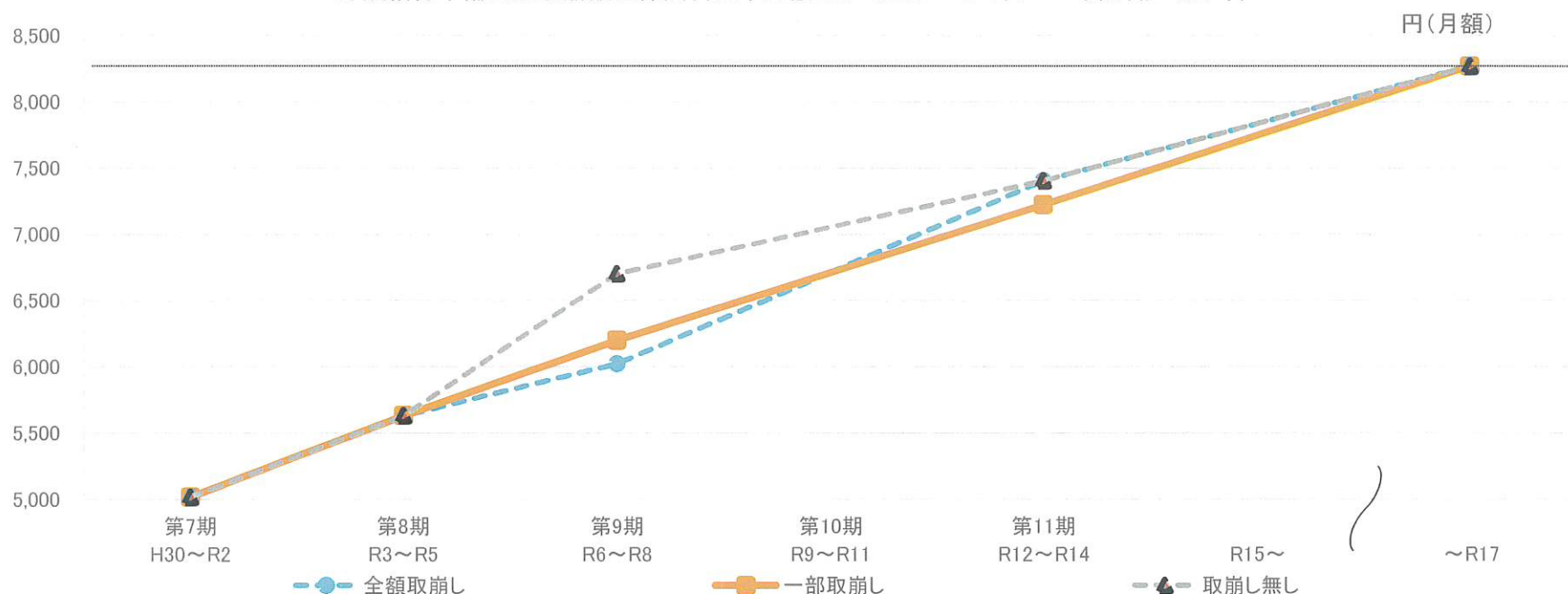


■準備基金約7,000万円のうち第9期で5,170万を取崩し、残額を11期に取崩す計算で保険料を算定。

単位：円

保険料 基準月額	第7期 H30～R2	第8期 R3～R5	第9期 R6～R8	第11期 R12～R14	～R17
取崩し無し	5,017	5,630	6,702	7,404	8,271
一部取崩し (5,170万円)	5,017	5,630	6,200	7,221	8,271
全額取崩し (7,000万円)	5,017	5,630	6,023	7,404	8,271

介護給付準備基金取崩額と保険料基準月額のシミュレーション (第7期→R17年)



	標準給付費計画値	標準給付費実績 (見込)	標準給付費伸び率(前期比)	保険料基準額 (月額)	保険料基準額伸び率 (前期比)	保険料増加額 (前期比)
第9期	2,749,656,502	2,749,656,502	13.06%	取崩前 6,702 6,200	取崩前 19.04% 10.12%	取崩前 +1,072 +570
第8期	2,614,379,065	2,431,930,672	9.20%	5,630	12.22%	+613
第7期	2,395,811,888	2,227,109,259	10.57%	5,017	3.12%	+152
第6期	2,275,552,000	2,014,197,871	—	4,865	—	—